

# RECORD

NO.

トーキョーNOVA THE AXLERATION

キャスト

CAST

プレイヤー

PLAYER

ルーラー

RULEER

日付

DATE

神業

DIVINE WORK

CS

コンバットスピード

AR

アクションランク

コネ

CONNECTION

カーロス

(1) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

推奨スタイル: ①カブト

ハンドアウト

コネ: カーロス

／推奨スート: 感情

君がその依頼を受けたのは半分以上偶然だ。君がカーロスと縁がそこそこ深く、その時レッドエリアにいて、仕事を受けていなかった。「アスカと言うイヌと協力して、一人の少女を守りきって欲しい。相手は極め付きのサイコ野郎だ」

残り時間は少なく、アスカと言うイヌは重症。報酬は前金で振込み済みでは、仕方ない。君は現場へと向かった。

アクトトレーラー

Act Trailer

深夜の呼び出し。助けを呼ぶ声。街を飛び交う蜂の群れ。午前3時に始まった、命を賭けたキャノンボール・ラン。

一人の少女を守りながら、ハウンド基地まで連れて行く。それだけ聞けば、2秒のビズだ。ただし、相手が“ハイヴ”でなければ。

火星帰りの男は言った。

「時間がねえ、超特急で頼む」

運の悪い女は言った。

「あはは、ドジ踏んだよ。この娘を守って、お願い」

暴走警官だった女は言った。

「今のアタシじゃ手が出せない。だから、お前に頼むんだ」

トーキョーN◎VA THE AXLERATION

『ミッドナイトランナーズ』

天国までの10ヤードファイト。

運命のゴールに、タッチダウンを決めろ。

PS

Purpose in this Scenario

少女をハウンド基地まで無事連れて行く

<

報酬点

REWARD

※プラチナム=10点 ゴールド=5点 シルバー=1点

経験点

EXP

ブリアクト

・ルーラーの依頼を果たした

□+1点

・会場の手配、連絡などを行なった

□+1点

メインアクト

・アクトに最後まで参加した

□+5点

・よいロールプレイを行なった

□+5点

・PSを果たした

□+5点

・他のプレイヤーを助ける言動を行なった

□+5点

・アクトの進行を助けた

□+5点

・うまく神業を使った

点

・シーンに登場した/□□□□□ (最大5)

点

合計

点

メモ

Memo

経験点チケット

トーキョーNOVA THE AXLERATION

経験点

EXP

点

アクトタイトル

Act Title

ミッドナイトランナーズ

日付

Date

ルーラーの署名

Ruler Signature

# RECORD

NO.

トーキョーNOVA THE AXLERATION

キャスト

CAST

プレイヤー

PLAYER

ルーラー

RULEER

日付

DATE

神業

DIVINE WORK

CS

コンバットスピード

AR

アクションランク

コネ

CONNECTION

鹿島アスカ

(1) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

推奨スタイル: ② イス

ハンドアウト

コネ: 鹿島アスカ

／推奨スート: 理性

君がその連絡受けたのは半分以上偶然だ。君はアスカの同僚で、その時レッドエリアにいて、なおかつアスカの事が嫌いではなかった。「ハイヴと言うサイコに追われている一人の少女を守る手伝いをして欲しいの、少しドジ踏んだ……」

しかも何の手違いか、このタイミングでアスカに背任の疑いがかり、アスカのイヌの権利は剥奪。解決できるのは、偶然少女を保護した君しかない。

アクトトレーラー

Act Trailer

深夜の呼び出し。助けを呼ぶ声。街を飛び交う蜂の群れ。午前3時に始まった、命を賭けたキャノンボール・ラン。

一人の少女を守りながら、ハウンド基地まで連れて行く。それだけ聞けば、2秒のビズだ。ただし、相手が“ハイヴ”でなければ。

火星帰りの男は言った。

「時間がねえ、超特急で頼む」

運の悪い女は言った。

「あはは、ドジ踏んだよ。この娘を守って、お願い」

暴走警官だった女は言った。

「今のアタシじゃ手が出せない。だから、お前に頼むんだ」

トーキョーN◎VA THE AXLERATION

『ミッドナイトランナーズ』

天国までの10ヤードファイト。

運命のゴールに、タッチダウンを決めろ。

PS

Purpose in this Scenario

アスカの依頼を達成する

報酬点

REWARD

※プラチナム=10点 ゴールド=5点 シルバー=1点

経験点

EXP

ブレイク

・ルーラーの依頼を果たした

□+1点

・会場の手配、連絡などを行なった

□+1点

メインアクト

・アクトに最後まで参加した

□+5点

・よいロールプレイを行なった

□+5点

・PSを果たした

□+5点

・他のプレイヤーを助ける言動を行なった

□+5点

・アクトの進行を助けた

□+5点

・うまく神業を使った

点

・シーンに登場した/□□□□□ (最大5)

点

合計

点

メモ

Memo

経験点チケット

トーキョーNOVA THE AXLERATION

経験点

EXP

点

アクトタイトル

Act Title

ミッドナイトランナーズ

日付

Date

ルーラーの署名

Ruler Signature

# RECORD

NO.

トーキョーNOVA THE AXLERATION

キャスト

CAST

プレイヤー

PLAYER

ルーラー

RULEER

日付

DATE

神業

DIVINE WORK

CS

コンバットスピード

AR

アクションランク

アクトトレーラー

Act Trailer

コネ

CONNECTION

“暴走課長”レイ (1) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

推奨スタイル: ③カタナ

ハンドアウト

コネ: “暴走課長”レイ

／推奨スート: 感情

何の因果か、ブラックハウンドから依頼が来た。しかも依頼主はあの“暴走課長”レイだ。一歩間違えば敵対する相手だが、依頼の内容はこのようなものだった。

彼女の同僚が言われ無き罪で権力を奪われ、殺人鬼に追われているのに、自分とハウンドは動くことが出来ない。なので、偶然を装って鹿島アスカという巡査を守って欲しいと。貸しを作るのも悪くない。君は現場へと向かった。

深夜の呼び出し。助けを呼ぶ声。街を飛び交う蜂の群れ。午前3時に始まった、命を賭けたキャノンボール・ラン。

一人の少女を守りながら、ハウンド基地まで連れて行く。それだけ聞けば、2秒のビズだ。ただし、相手が“ハイヴ”でなければ。

火星帰りの男は言った。

「時間がねえ、超特急で頼む」

運の悪い女は言った。

「あはは、ドジ踏んだよ。この娘を守って、お願い」

暴走警官だった女は言った。

「今のアタシじゃ手が出せない。だから、お前に頼むんだ」

トーキョーN◎VA THE AXLERATION

『ミッドナイトランナーズ』

天国までの10ヤードファイト。

運命のゴールに、タッチダウンを決めろ。

PS

Purpose in this Scenario

レイの依頼を達成する

メモ

Memo

報酬点

REWARD

※プラチナム=10点 ゴールド=5点 シルバー=1点

経験点

EXP

ブリアクト ・ルーラーの依頼を果たした □+1点

・会場の手配、連絡などを行なった □+1点

メインアクト ・アクトに最後まで参加した □+5点

・よいロールプレイを行なった □+5点

・PSを果たした □+5点

・他のプレイヤーを助ける言動を行なった □+5点

・アクトの進行を助けた □+5点

・うまく神業を使った 点

・シーンに登場した/□□□□□ (最大5) 点

合計

点

経験点チケット

トーキョーNOVA THE AXLERATION

経験点

EXP

点

アクトタイトル

Act Title

ミッドナイトランナーズ

日付 Date

ルーラーの署名

Ruler Signature

# RECORD

NO.

トーキョーNOVA THE AXLERATION

キャスト

CAST

プレイヤー

PLAYER

ルーラー

RULEER

日付

DATE

神業

DIVINE WORK

CS

コンバットスピード

AR

アクションランク

コネ

CONNECTION

カーロス

(1) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

( ) ♠♣♥◇

推奨スタイル: ④ニューロ

ハンドアウト

コネ: カーロス

／推奨スート: 外野

顔なじみのフィクサーからの緊急の依頼は、極め付きのサイバーサイコ相手の荒事。しかも、少女を守りながら走り回るホワイトエリア直行便だという。

何かの悪い冗談かと思ったが、やつは本気だ。きっと、火星ではこれら日常茶飯事なのだろう。敵は賞金首のサイコの集団と言う話だ。相手にとつて不足は無い。君は現場へと向かった。

アクトトレーラー

Act Trailer

深夜の呼び出し。助けを呼ぶ声。街を飛び交う蜂の群れ。午前3時に始まった、命を賭けたキャノンボール・ラン。

一人の少女を守りながら、ハウンド基地まで連れて行く。それだけ聞けば、2秒のビズだ。ただし、相手が“ハイヴ”でなければ。

火星帰りの男は言った。

「時間がねえ、超特急で頼む」

運の悪い女は言った。

「あはは、ドジ踏んだよ。この娘を守って、お願い」

暴走警官だった女は言った。

「今のアタシじゃ手が出せない。だから、お前に頼むんだ」

トーキョーN◎VA THE AXLERATION

『ミッドナイトランナーズ』

天国までの10ヤードファイト。

運命のゴールに、タッチダウンを決めろ。

PS

Purpose in this Scenario

少女を守りきる

メモ

Memo

報酬点

REWARD

※プラチナム=10点 ゴールド=5点 シルバー=1点

経験点

EXP

ブリアクト

・ルーラーの依頼を果たした

□+1点

・会場の手配、連絡などを行なった

□+1点

メインアクト

・アクトに最後まで参加した

□+5点

・よいロールプレイを行なった

□+5点

・PSを果たした

□+5点

・他のプレイヤーを助ける言動を行なった

□+5点

・アクトの進行を助けた

□+5点

・うまく神業を使った

点

・シーンに登場した/□□□□□ (最大5)

点

合計

点

経験点チケット

トーキョーNOVA THE AXLERATION

経験点

EXP

点

アクトタイトル

Act Title

ミッドナイトランナーズ

日付 Date

ルーラーの署名

Ruler Signature